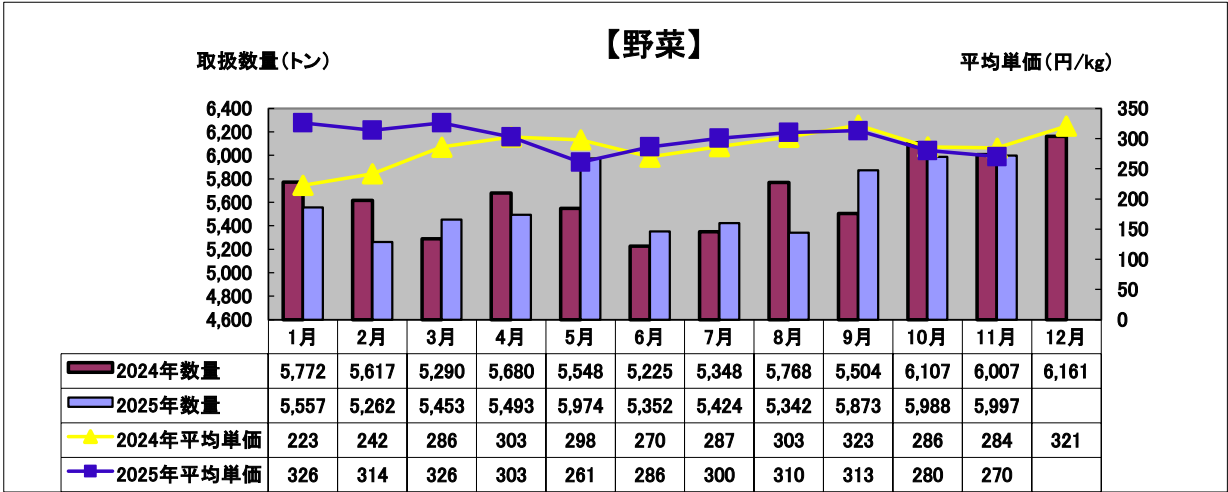
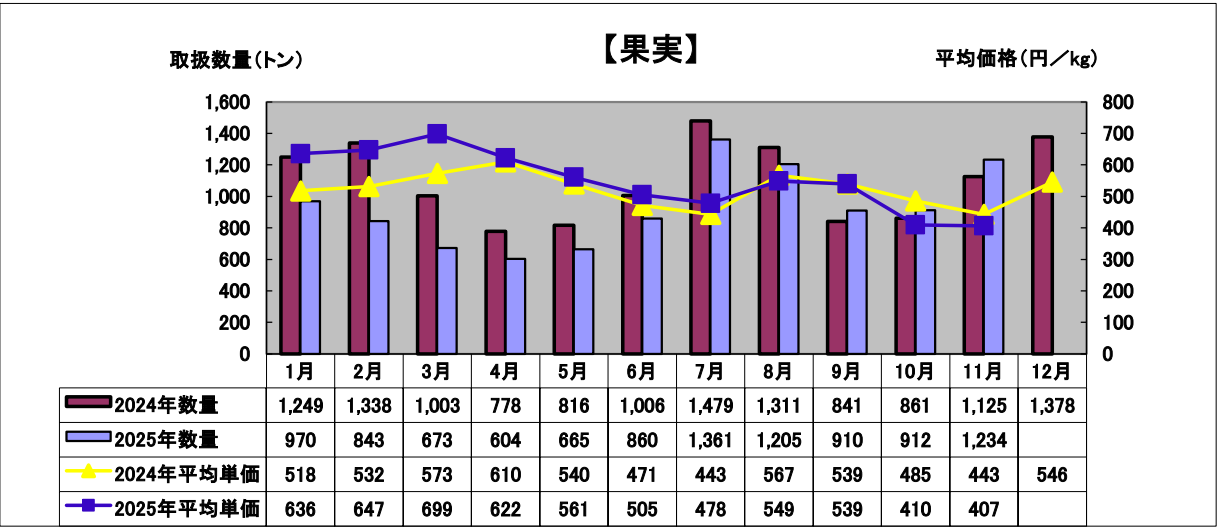


令和7年(2025年)11月 青果部種類別市



北海道・熊本県産中心の品目については8～9月の猛暑や熊本県での大雨による影響が大きく、数量減・高単価で推移しました。関東産については、暑さの影響から解放され台風等の被害もなく、露地野菜を中心に前年を上回る入荷となりました。しかし、消費的には物価高の影響は払拭できず低調な売れ行きとなりました。数量は平年並み、平均単価やや安く推移しました。

前年比数量 100%、平均単価 95%で終了しました。



昨年はみかんが不作で大幅な数量減となりましたが、今年度は前年以上一昨年未満の入荷となり、数量を押し上げました。その分単価は前年より落ち着き、結果としてみかん以外の果実を含めても、数量はやや増加、平均単価はやや安く推移しました。

前年比数量 110%、平均単価 92%で終了しました。